

カ タ リ ナ

学報

第54号



St. Catherine University

聖カタリナ大学 / 聖カタリナ大学短期大学部

2025. 6. 1



聖カタリナ大学第38回

聖カタリナ大学短期大学部第60回

聖カタリナ大学大学院第4回

入学式式辞

学長 坂 原 明



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。聖カタリナ大学を代表しまして、皆様のご入学を心より歓迎いたします。また、皆さんを長年支えてこられましたご家族や関係者の皆さまに対し、心よりお祝いを申し上げます。そして、ご来賓の皆様には、ご多忙の中、この良き日にご列席くださいます心から御礼申し上げます。また、本年も台湾の国際姉妹校から留学生を迎えることができました。台湾から留学された皆さん、入学おめでとうございます。

本学は今年度、新しく現代人間学科を設置しました。この現代人間学科は、これまでの人間社会学科と社会福祉学科の教育内容に加え、現代社会で求められているデータ・サイエンスを活用する知識とスキルを学べる学科となっております。また、この現代人間学科の設置に合わせ、学部の名称もこれまでの人間健康福祉学部から健康社会学部に変更することとしました。この大学の改組によって聖カタリナ大学は、今日の時代に求められる力を備えた優秀な若人を社会に送りだしていきます。

さて、本日から皆さんは聖カタリナ大学の学生となり、人生の新しいステップを踏み出そうとしています。この式辞では、皆さんが大学生活を始められるにあたり、心に留めておいていただきたい3つのことをお話したいと思います。

まず、大学における学びについてお話したいと

思います。大学では、既存の知識や技術を学ぶだけではなく、自分自身で問いを立て、その答えを自分自身で見つけていくことが求められます。私たちは多様化した世界で、答えの用意されていない時代を生きています。こうした時代を生き抜くためには、物事の本質について、自ら考え、自ら決め、自ら動くことが求められます。皆さんが、そのような力を身につけることによって皆さんの人生をより充実したものにしていきたいと思っています。

また、皆さんは、これから大学において多くの専門知識を学ばれるとともに資格や免許の取得などを通して、社会において活躍する準備を始められますが、大学で学ぶ時間は、長いように見えて、足早に過ぎていきます。皆さんにお伝えしたいことは、大学では、是非、計画性をもって学んでいただきたいということです。本学は、前学期と後学期の2学期制をとっていますが、たとえばこの学期では、興味をもった科目の知識を深める、または将来ご自身がチャレンジする資格や免許の学修をここまで進めるといったように具体的な目標を立て、日々の授業を受けていただきたいと思います。皆さんの大学生活は、将来を見据えた明確な目標を持つことで、より充実したものになると思います。

2つ目に、大学生活を送る上で皆さんに知っておいていただきたい言葉についてお伝えしたいと

思います。本学は、約800年前に設立された聖ドミニコ修道会に由来する聖ドミニコ宣教修道女会によって設置されたカトリック大学です。そして、そのスクール・モットーとして「チャリティ・フォー・ユア・ネイバーズ (Charity for your neighbours)」という言葉掲げています。スクール・モットーとは、その大学の教育の理念・目標を表し、学生の皆さんが本学において是非身につけていただきたい心の姿勢であり行動の規範といえます。チャリティ・フォー・ユア・ネイバーズとは、「あなたの隣人を大切に、つまり、共に生きる人を大切にする」という意味があります。自分さえよければ良いと考えるのではなく、お互いを尊重しあうことで人は幸せになります。人は、人との関わりの中で幸せを感じます。周囲の人が幸福であればこそ自分も幸福を感じることができるのです。自分自身、そして周囲の人が幸せになるためには、お互いが手を差し伸べ合って生きることが大切です。本学のこの「チャリティ・フォー・ユア・ネイバーズ」というスクール・モットーをいつも心に留めながら大学生活をお送りいただきたいと思います。

3つ目にお伝えしたいことは、学業以外の大学

生活の過ごし方です。大学生活は学業だけではなく、様々な経験ができる人生でも貴重な時期と言えます。新しい友人との出会い、サークルや部活動、長期の休暇などを利用した旅行など、学業以外にも色々な経験をして見聞を広めていただきたいと思います。そして、生活面では、これまでよりも自由度が高くなりますが、皆さんが立てられた目標を達成するためには、自分自身をコントロールする強い意志が今まで以上に必要となることも心に留めておいてください。

皆さんが大学で過ごす時間は、人生の方向性を定める大切な時間でもあります。皆さんが将来に対して抱いている夢は、この2年間または4年間の大学生活をどのように過ごすかということに掛かっています。未来は、自分の力で作っていくことができます。皆さんに与えられたこの貴重な時間が、充実したものになるよう努力を惜しまないでください。

最期になりますが、本学で、皆さんが多くの新しい「出会い」を経験されるとともに、豊かな知識と豊かな心が皆さんの中に育つことを祈りながら私の式辞とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



聖カタリナ学園 | 創立100周年記念

百年一新

語り尽くせぬ伝統がある 語り継がれる未来がある

ご寄付のお願い【教育振興募金のご案内】

聖カタリナ学園は、2025年に創立100周年を迎えました。

聖カタリナ学園では聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部の教育事業を永続的に発展させるため、また、教育環境の維持、充実を図るための支援として、皆様からの募金のご支援を受け付けております。趣旨をご理解いただき、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ・お申し込み先】

学校法人聖カタリナ学園 法人本部事務局 〒799-2496 愛媛県松山市北条660番地
TEL 089-993-1300 FAX 089-992-5616



●2024年度前学期Dean's List・Honor's List（成績優秀者）表彰式を開催

10月に、2024年度前学期Dean's List・Honor's List（成績優秀者）表彰式が行われ、社会福祉学科生5名、人間社会学科生10名、健康スポーツ学科生5名、看護学科生17名、保育学科生9名が表彰されました。

Dean's Listは、学年・学科毎に1～3年次の前学期・後学期および4年次の前学期、Honor's Listは、1年次の前学期・後学期および2年次の前学期の各学期のGPAにより成績上位者を選出するものです。

●2024年度松山義士祭に参加

12月14日（土）、看護学科の学生・教員が松山義士祭に参加しました。松山義士祭は赤穂浪士討ち入りの日である12月14日に行われている松山師走の風物詩といえるイベントです。松山市駅キャンパス近隣の興聖寺で行われており、参加者は義士に扮して末広町通りから市駅前をパレードします。

本学看護学科からの参加は今年で2回目となり、看護学科の学生9名・教員1名が参加しました。



2024年度は地域の皆さまをお招きしての介護予防教室の開催や松山義士祭のイベント参加などを通じて松山市駅キャンパス周辺地域の皆さまと交流を深めることができました。今後も地域の人々とともに学ぶ姿勢を大切にしていきたいと思います。

●聖カタリナ大学警察ボランティア 道の駅「風早の郷 風和里」で活動

11月24日（日）、松山市大浦の道の駅「風早の郷 風和里」で開催された「2024年セーフティドライブ道の駅ふわり」に、聖カタリナ大学警察ボランティアの学生4名が参加しました。

このイベントでは、松山市長をはじめとする来賓の挨拶の後、約1時間にわたり学生たちがセーフティドライブや特殊詐欺被害防止を呼びかけながら、特製バンダナと啓発チラシを配布しました。



今回の活動は、警察や地域の皆さまとの連携のもと実施され、多くの方々と直接交流する貴重な機会となりました。

学生たちは地域社会の安全を守る重要性を改めて実感し、自分たちが担う役割に責任を持って取り組むことの大切さを学びました。また、啓発活動を通じて、家族や友人を含む身近な人々への日常的な注意喚起の必要性も感じたとのことでした。

●第52回かざはや楽市に参加（学生ボランティアセンター×北条高校生徒会）

12月8日(日)、北条地区まちづくり協議会が主催する「第52回かざはや楽市」に、本学学生ボランティアセンターから4名、愛媛県立北条高等学校生徒会から1名が参加しました。

学生たちはイベントスタッフの方々と協力しながら、「北条の謎を探れ」と「子ども遊びコーナー」の運営に携わりました。

「北条の謎を探れ」では謎解き資料の配布や説明、会場案内などを、「子ども遊びコーナー」ではおもちゃで遊ぶ子どもたちの見守りや遊び方の説明を行いました。

はじめは戸惑いがあったものの、次第に子どもたちと打ち解け一緒に楽しい時間を過ごしました。

かざはや楽市でのボランティア活動を重ねることで、学生たちは地域とのつながりを深め、貢献する喜びを実感しています。



●2024年度募金活動実施報告（学生ボランティアセンター×北条高校生徒会）

聖カタリナ大学学生ボランティアセンターと愛媛県立北条高等学校生徒会は地域貢献活動の一環としてチャリティーフリーマーケットを共同開催し、大学生と高校生が協力して販売を行いました。

この活動は、本学大学祭（10月26日）および北条高校文化祭（11月1日）で実施され、フリーマーケットの売上金17,298円は、北条地区共同募金会と社会福祉法人松山市社会福祉協議会松山市まごころ銀行に全額寄付いたしました。

これまで余剰品の回収は本学内でのみ行っていましたが、今回は回収箱を北条高校および北条地区社会福祉協議会のご協力を得て公民館やおもてなしサロン明星などに設置し、地域の皆さまからご提供いただきました。

この取り組みは、地域と大学生、高校生が力を合わせて地域福祉に貢献する新たな一歩となりました。ご協力いただいたすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。



●第62回愛媛マラソンボランティアに参加（看護学科学生）

2月9日(日)、第62回愛媛マラソンに、本学看護学科学生19名が救護ボランティアとして参加しました。

学生たちは事前説明を受けて、マラソンコース上でランナーの健康状態の観察と必要時に救命できるように、それぞれ赤十字救急法で学んだ知識と技術を復習して臨みました。

最強で最長といわれる大寒波が到来したため、参加者の体調が心配されましたが、大会当日は見事な快晴となり、みんなそれぞれの役割を果たしながら、大声で声援も送り続けました。

今後も看護学生として、愛媛マラソンはじめ様々な活動へのボランティア参加を通して地域社会に貢献してまいります。



●2024年度聖カタリナ大学大学院看護学研究科修士論文発表会を開催

2月12日(水)、2024年度の修士論文発表会が開催されました。3名の院生が、災害看護学、老年看護学、看護教育学の分野で研究に取り組み、新規性のあるテーマで今後の臨床に役立つ知見が発表されました。質疑応答では、様々な観点から質問がなされ、一層、研究の成果に関する理解が深まりました。



●第19回「全国児童館・児童クラブ大会えひめ」ボランティアに参加

2月15日(土)・16日(日)、松山市総合コミュニティセンターで開催された「全国児童館・児童クラブ大会えひめ」にボランティアとして看護学科・保育学科の学生が参加しました。総合受付にて、全国各地から来場された参加者のお迎えや誘導、各分科会でのサポート、遊びコーナーのサポートなどを行いました。サポートに入った会場の職員さんからは「元気いっぱいの子供スタッフさんに手伝ってもらって、助かります」とお声がけいただきました。



●「愛媛県介護実習・普及センター開設30周年記念 介護デザインEXPO」で活動

2月11日(火・祝)、愛媛県総合社会福祉会館で開催された「愛媛県介護実習・普及センター開設30周年記念 介護デザインEXPO」において、学生ボランティアセンターのメンバーを中心とした社会福祉学科の学生12名がボランティアスタッフとして活動しました。

学生たちは、福祉用具の展示・体験コーナーやセミナー、ワークショップへの案内、スタンプラリー景品交換の対応を行ったほか、愛媛県のイメージアップキャラクター「みきゃん」や「こみきゃん」に扮して来場者を楽しませたり、餅まき・お菓子まきでイベントを盛り上げたりと、幅広い活動を行いました。イベント終了後、担当職員からは「どの学生さんも積極的に動いてくださり、大きな混乱もなく来場者が安全に楽しめる環境を作れました。自発的な判断や笑顔での対応も大変助かりました」とお言葉をいただきました。



また、学生たちはセミナーやEXILE TETSUYA さんによるダンスワークショップを通じて新たな知識を得るなど、充実した経験を積むことができました。今回の学びと経験を糧に、地域へ貢献できる力を育んでまいります。

●健康スポーツ学科・馬越千里助教が国民スポーツ大会入賞選手賞を受賞

2月26日(水)に、ANAクラウンプラザホテル松山において、公益財団法人愛媛県スポーツ協会創立100周年記念式典・表彰式・祝賀会が開催され、健康スポーツ学科所属・剣道部顧問の馬越助教が2024年度国民スポーツ大会入賞選手賞として表彰されました。

馬越助教は9月28日(土)・29日(日)に佐賀県神埼市において開催された「SAGA2024・第78回国民スポーツ大会(剣道競技会)」において、愛媛県代表として成年女子(3人制団体)・大将で出場し5位入賞を果たしました。この賞はその功績を称えて愛媛県より贈られたものです。



●2024年度、第37回社会福祉士、第27回精神保健福祉士国家試験結果(新卒者合格者数)

社会福祉士合格者数 3年連続 愛媛県1位、四国1位(私立大学:受験者10名以上)

社会福祉士合格率 75.0%(18名/24名)、全国56.3%、新卒者75.2%

精神保健福祉士合格率 85.7%(6名/7名)、全国70.7%、新卒者85.3%

本学では、国試対策講座、夏季・冬季特別講座、自主学習専用教室の利用促進など、様々な学習支援の機会と環境を学生に提供し着実に学びの成果を上げています。今後も一人でも多くの学生の夢を実現できるよう、大学として細やかなサポートを続けていきます。

●2024年度、第37回介護福祉士国家試験結果

本校社会福祉学科は、第37回介護福祉士国家試験において昨年度に引き続き全員合格を達成いたしました(合格率100%)。

学生一人ひとりの努力はもとより、実習施設の皆様、ご家族の温かいご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

本学では、これからも質の高い教育を提供し、福祉社会に貢献できる人材の育成に努めてまいります。合格した皆さんの今後のさらなるご活躍を期待しております。

●日本看護研究学会中国・四国地方会第37回学術集会を開催

3月9日(日)に日本看護研究学会中国・四国地方会第37回学術集会(実行委員長:西田佳世看護学部長)を松山市駅キャンパスにて開催しました。開催テーマを、「看護のチカラ2025 -ひと・まち・いのちを繋ぐ-」とし、聖カタリナ大学の建学の精神のもと、活気に満ちた1日となりました。中国・四国地方の看護職の皆さんを中心に299名のご参加をいただき、坂原学長の特別講演で幕を開け、合計70演題の看護研究発表がありました。松山らしく坊っちゃん、マドンナの学生ボランティアが各所で対応するなど、愛らしいおもてなしで無事学術集会を終えることができました。本学からは西山里枝講師(共同研究者:齋藤希望講師、二宮寿美教授)が優秀口演賞を、そして卒業生(3期生)が最優秀口演賞(共同研究者:西田佳世教授)を受賞しました。看護学部は今後も在学生、卒業生、教職員がONE TEAMになり、看護学の発展に向けて努力していきたいと思います。今回、地元企業様、病院様からの温かいご支援もいただきました。ご協力いただきました全ての皆さま、ありがとうございました。



●2024年度卒業証書・修了証書・学位記授与式を挙

3月17日(月)、2024年度聖カタリナ大学短期大学部、聖カタリナ大学、聖カタリナ大学大学院卒業証書・修了証書・学位記授与式を松山市民会館にて挙りました。

当日は厳かな雰囲気の中、卒業生・修了生はガウンと角帽で正装して聖歌斉唱や聖書朗読を行いました。その後、坂原学長から各学科の代表者に卒業証書が授与されました。卒業式を終え卒業生・修了生は希望を胸にキャンパスを巣立ちました。

卒業生・修了生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの飛躍を心よりお祈りいたします。



●2025年度聖カタリナ大学短期大学部・聖カタリナ大学・大学院入学式を挙

4月3日(木)聖カタリナ大学短期大学部第60回・聖カタリナ大学第38回・聖カタリナ大学大学院第4回入学式が松山市民会館において挙行されました。

学長から入学許可宣言をうけ、新入生は聖カタリナ大学短期大学部・聖カタリナ大学・聖カタリナ大学大学院の学生となりました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。



●硬式野球部が初優勝、全日本大学選手権出場決定



5月10日(土)マドンナスタジアムにて四国地区大学野球連盟春季リーグ最終戦が開催されました。

試合は高知大学に4-1で勝利し、2018年の創部以来初のリーグ優勝を決め、第74回全日本大学野球選手権大会(明治神宮野球場・東京ドーム)の出場を決めました。

大学公式LINE



※QRコードをスキャンするとLINEの友だちに追加されます。

大学公式Instagram



受験希望
の方



大学HP



保育学科
ブログ



◆◆ 令和6年度後期行事 (R6.10.1～R7.3.31) ◆◆

月	日	曜	区	行 事
10	2	水	大短	教務委員会松山市駅キャンパス会議 教授会
	4	金		第1. 2回愛媛銀行寄付講座「風早の塾」
	5	土		オープンキャンパス
	8	火	大	キリスト教研究所フォーラム、キリスト教研究所所員会 研究倫理委員会
	9	水	大	理事長講話(北条キャンパス)、奨学制度運営委員会 全学教授会、人事委員会、学部長会議
	11	金		第3回愛媛銀行寄付講座「風早の塾」、大学見学会(川之石高校)
	12	土		警察ボランティア委嘱式
	15	火		衛生委員会、大学祭バイブオルガン演奏会実行委員会、学生生活委員会北条キャンパス会議
	16	水	大短	理事長講話(松山市駅キャンパス)、健康スポーツ学科会議、看護学科会議、看護学科運営会議 保育学科会議
	18	金		理事会、第4回愛媛銀行寄付講座「風早の塾」
	21	月	短	人事委員会
	22	火		図書館委員会・研究紀要編集部会
	23	水	大	教学マネジメント委員会 研究科委員会
	25	金		大学祭(～10/27)
	27	日	大	オープンキャンパス with 大学祭(松山市駅キャンパス)
	30	水	大	人間文化研究所フォーラム、就職委員会、大学見学会(北条高校) Dean's List表彰式、教務委員会北条キャンパス会議 Honor's List表彰式
11	1	金	短	第5回愛媛銀行寄付講座「風早の塾」 教務委員会
	6	水	大	入試・募集委員会 教務委員会松山市駅キャンパス会議
	7	木	短	会計監査(中間)(～11/8) 教授会、人事教授会
	8	金	大	第6回愛媛銀行寄付講座「風早の塾」 人事委員会
	12	火		キリスト教研究所フォーラム
	13	水	大	全学教授会、選考教授会、学部長会議
	15	金		第7回愛媛銀行寄付講座「風早の塾」
	16	土	短	推薦入試 推薦入試、入試判定部会
	18	月	大	判定入試・募集委員会(北条キャンパス)
	19	火	短	教授会
	20	水	大	人間健康福祉学部教授会、社会福祉学科会議、健康スポーツ学科会議、看護学科会議 保育学科会議
	22	金		奨学制度運営委員会、遠隔地支援制度部会
	23	土	大	推薦入試
	26	火	大	判定入試・募集委員会(松山市駅キャンパス)
	27	水	大	看護学部教授会、研究科委員会
	28	木		人間文化研究所フォーラム
	29	金		第8回愛媛銀行寄付講座「風早の塾」
	30	土		評議員会・理事会
12	4	水	大短	教務委員会松山市駅キャンパス会議 教授会
	10	火		キリスト教研究所フォーラム
	11	水	大	情報ネットワークシステム運営委員会 全学教授会、人事委員会
	12	木	大	研究倫理委員会
	13	金	大	第9回愛媛銀行寄付講座「風早の塾」 学部長会議
	14	土	大	オープンキャンパス
	17	火	大	衛生委員会 人間健康福祉学部教授会
	18	水	大	奨学制度運営委員会、遠隔地支援制度部会、入試・募集委員会 社会福祉学科会議、健康スポーツ学科会議、看護学科会議、研究科委員会 保育学科会議
	19	木		国際交流委員会
	20	金		学内クリスマス、理事会、人間文化研究所フォーラム
	21	土		冬季休業開始、精神保健福祉現場実習報告会・連絡会

月	日	曜	区	行 事
12	23	月		クリスマス・オープンキャンパス
	26	木		S D 研修会
	1	7	火	冬季休業終了、財務委員会
1		大		教務委員会松山市駅キャンパス会議
	8	水	大	学生生活委員会 全学教授会、人事委員会 教授会
	14	火		キリスト教研究所フォーラム
	15	水	大	健康スポーツ学科会議、看護学科会議、看護学科運営会議 人事委員会
	21	火		広報委員会
	22	水	短	研究科委員会、大学院研究計画発表会 保育学科会議
	25	土	大	評議員会・理事会 看護学科入学前教育プログラム
	29	水	大	人間文化研究所フォーラム 社会福祉学科会議
	2	1	土	大 一般入試 短 一般入試
	4	火	短	入試判定部会
5	5	水	大	人事委員会、判定入試・募集委員会(北条キャンパス)、教務委員会松山市駅キャンパス会議 教授会、人事教授会
	6	木	大	判定入試・募集委員会(松山市駅キャンパス)
	7	金	大	ソーシャルワーク実習連絡会・報告会
	8	土		後援会役員会
	12	水	大	学長と学生の懇談会(北条キャンパス) 全学教授会、選考教授会、研究科委員会、学部長会議 保育学科実習懇談会
	15	土	大	一般入試
	17	月	大	教務委員会北条キャンパス会議
	18	火		キリスト教研究所フォーラム
	19	水	大	学長と学生の懇談会(松山市駅キャンパス)、判定入試・募集委員会(松山市駅キャンパス)
	20	木	短	全学教授会、看護学部教授会、健康スポーツ学科会議、看護学科会議
20	21	金	短	教務委員会 財務委員会、強化指定クラブ運営協議会 教授会
	25	火	大	判定入試・募集委員会(北条キャンパス)
	26	水	大	人間文化研究所フォーラム 人間健康福祉学部教授会、人事委員会、研究科委員会 保育学科会議
	28	金		理事会
3	3	月	短	人事委員会
	5	水	大	I R 委員会 研究倫理委員会、教務委員会松山市駅キャンパス会議 教授会、人事教授会
	6	木	短	スプリングセミナー
	10	月	短	入試判定部会
	11	火	短	教授会、人事委員会
	13	木	大	第三者評価委員会 現代人間学科スプリングセミナー、判定入試・募集委員会(北条キャンパス)、全学教授会、選考教授会、人事委員会、現代人間学科会議、学部長会議 教授会
	14	金	大	看護学部教授会、判定入試・募集委員会(松山市駅キャンパス)
	17	月		卒業式
	18	火	短	初心者のためのピアノ教室
	19	水	大	教職課程委員会、健康スポーツ学科会議、看護学科運営会議、看護学科会議
20	20	木		オープンキャンパス
	21	金		春季休業開始
	22	土		評議員会・理事会
	24	月		奨学制度運営委員会、遠隔地支援制度部会
	26	水	大	教務委員会松山市駅キャンパス会議
	28	金	短	入試・募集委員会 保育学科会議
	31	月		春季休業終了

◆◇ 令和6年度卒業生就職等進路状況 ◇◆

令和7年5月1日現在

1. 業種別状況

【聖カタリナ大学】

業 種 / 学 科		就 職 者 数					
		社会福祉	介護福祉	人間社会	健康スポーツ	看護	合 計
企 業	建設／製造	0	0	8	12	0	20
	情報通信／運輸、郵便	0	0	3	4	0	7
	卸売，小売	2	1	9	10	0	22
	金融，保険	0	0	0	0	0	0
	サービス(宿泊，複合他)	3	0	6	9	0	18
	その他(電気，不動産他)	0	0	2	3	0	5
	教育，学習支援	0	0	0	7	0	7
医療，福祉	医療，保健衛生(病院他)	2	0	2	0	61	65
	児童福祉施設	5	0	0	1	0	6
	老人福祉施設	5	0	0	1	0	6
	障害者福祉施設	3	0	1	0	0	4
	その他(社会福祉協議会他)	8	0	0	0	0	8
公 務	国家公務員	0	0	1	0	0	1
	地方公務員	2	0	4	2	0	8

【聖カタリナ大学短期大学部】

業 種 / 学 科		就職者数
		保 育
教 育 ， 学 習 支 援	公立幼稚園	1
	私立幼稚園	6
	幼保連携型認定こども園	10
	その他の教育，学習支援業	0
児 童 福 祉	公立保育所	5
	私立保育所・託児所	13
	児童養護施設	1
	その他の児童福祉事業	5
医 療，福 祉	病院	0
	その他の福祉，介護事業	2
企 業	卸売，小売	0
	宿泊，飲食サービス	1
	金融，保険	0
	その他(製造，サービス他)	2
公 務	国家公務員	0
	地方公務員	0

就 職 者 数		30	1	36	49	61	177
	(県 内)	(26)	(1)	(28)	(27)	(46)	128
	(県 外)	(4)	(0)	(8)	(22)	(15)	49
卒業生内訳	就職希望者数	32	1	39	51	61	184
	就職率	93.8%	100.0%	92.3%	96.1%	100.0%	96.2%
	(県内就職率)	(86.7%)	(100.0%)	(77.8%)	(55.1%)	(75.4%)	(72.3%)
	進学者数	0	0	3	1	2	6
	家事・その他	2	0	4	2	4	12
	卒業者数	34	1	46	54	67	202

就 職 者 数		46
	(県 内)	(43)
	(県 外)	(3)
卒業生内訳	就職希望者数	47
	就職率	97.9%
	(県内就職率)	(93.5%)
	進学者数	8
	家事・その他	1
	卒業者数	56

2. 職種別状況

【聖カタリナ大学】

職 種 / 学 科		就 職 者 数					
		社会福祉	介護福祉	人間社会	健康スポーツ	看護	合 計
医療ソーシャルワーカー (MSW)		1	0	0	0	0	1
精神科ソーシャルワーカー (PSW)		0	0	0	0	0	0
相談員 (社会福祉主事他)		4	0	0	0	0	4
支援員 (知的・身障・児童他)		11	0	2	0	0	13
介護福祉士，介護職		7	0	0	1	0	8
その他の福祉専門職(社会福祉士他)		1	0	0	1	0	2
看護師・保健師		0	0	0	0	61	61
教員		0	0	0	3	0	3
事務		1	0	10	1	0	12
販売，営業		2	1	14	21	0	38
インストラクター・実践指導者他		0	0	0	4	0	4
その他 (サービス，保安，生産他)		3	0	10	18	0	31
合 計		30	1	36	49	61	177

【聖カタリナ大学短期大学部】

職 種 / 学 科		就職者数
		保 育
幼稚園教諭		17
保育士		24
その他の教員		0
社会福祉専門職業 (児童厚生員含む)，介護サービス職業		2
事務		0
販売		0
その他 (サービス職業，生産工程他)		3
合 計		46
(保育専門職への就職率)		(89.1%)

◆◇ 令和6年度教授会議題（後期） ◇◇

【全学教授会議題】

令和6年10月9日 第3回

1. 2025（令和7）年度現代人間学科・健康スポーツ学科総合型選抜合格者選考について
2. 2025（令和7）年度社会福祉学科・人間社会学科第3年次編入学推薦選抜（提携校Ⅰ期）合格者選考について
3. 2025（令和7）年度人間社会学科第3年次編入学一般選抜（Ⅰ期）合格者選考について
4. 退学について
5. 休学について
6. 除籍について
7. 復籍について
8. 社会福祉学科社会福祉専攻および介護福祉専攻での社会福祉士養成の廃止について

令和6年11月13日 第4回

1. 退学について
2. 復籍について
3. 学年歴について
4. 健康社会学部長選挙管理委員会委員の選出について

令和6年12月11日 第5回

1. 退学について
2. 学長賞表彰者について

令和7年1月8日 第6回

1. 退学について
2. 聖カタリナ大学学則の一部改正について
3. 聖カタリナ大学早期科目等履修制度に関する規程の制定について

令和7年2月12日 第7回

1. 2025（令和7）年度現代人間学科・健康スポーツ学科一般選抜（A日程）合格者選考について
2. 2025（令和7）年度現代人間学科・健康スポーツ学科共通テスト利用選抜（前期）合格者選考について
3. 2025（令和7）年度看護学科試験選抜（A日程）合格者選考について
4. 退学について
5. 転学部等の許可について
6. 聖カタリナ大学人間健康福祉学部教務委員会規程の一部改正について
7. 聖カタリナ大学進級規程の一部改正について
8. 現代人間学科履修細則の制定について
9. 健康スポーツ学科履修細則（2025年度入学生から）の制定について
10. 聖カタリナ大学人間健康福祉学部学生生活委員会規程の一部改正について
11. 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学の広報に関する規程の一部改正について

令和7年2月19日 第8回

1. 卒業判定について
2. 聖カタリナ大学試験に関する規程の一部改正について

令和7年3月13日 第9回

1. 2025（令和7）年度現代人間学科・健康スポーツ学科一般選抜（C日程）合格者選考について
2. 2025（令和7）年度現代人間学科・健康スポーツ学科共通テスト利用選抜（後期）合格者選考について
3. 卒業の認定について
4. 進級判定について（社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科）
5. 進級判定について（看護学科）
6. 休学について
7. 退学について
8. 除籍について
9. 大学の学部名称変更及び新学科設置に伴う各種規程の改正について

【人間健康福祉学部教授会議題】

令和6年11月20日 第5回

1. 2025（令和7）年度現代人間学科・健康スポーツ学科指定校推薦選抜（前期）合格者選考について
2. 2025（令和7）年度現代人間学科・健康スポーツ学科専願推薦選抜合格者選考について
3. 2025（令和7）年度健康スポーツ学科スポーツ推薦選抜（Ⅰ期）合格者選考について

4. 2025（令和7）年度現代人間学科外国人留学生特別選抜（指定校推薦）合格者選考について

令和6年12月17日 第6回

1. 2025（令和7）年度現代人間学科指定校推薦選抜（後期）合格者選考について
2. 2025（令和7）年度現代人間学科・健康スポーツ学科一般推薦選抜合格者選考について
3. 2025（令和7）年度現代人間学科社会人特別選抜（Ⅰ期）合格者選考について

令和7年2月26日 第7回

1. 2025（令和7）年度現代人間学科・健康スポーツ学科一般選抜（B日程）合格者選考について
2. 2025（令和7）年度社会福祉学科第3年次編入学推薦選抜（提携校Ⅱ期）合格者選考について
3. 聖カタリナ大学健康社会学部現代人間学科3ポリシーの制定について
4. 聖カタリナ大学健康社会学部健康スポーツ学科3ポリシーの改正について

【看護学部教授会議題】

令和6年11月27日 第5回

1. 2025（令和7）年度看護学科指定校推薦選抜合格者選考について
2. 2025（令和7）年度看護学科公募制推薦選抜合格者選考について
3. 2025（令和7）年度看護科学園特別推薦選抜合格者選考について
4. 聖カタリナ大学研究倫理委員会看護学科分会に関する規程の一部改正について

令和7年2月19日 第6回

1. 2025（令和7）年度看護学科共通テストプラス選抜（A日程）合格者選考について

令和7年3月14日 第7回

1. 2025（令和7）年度看護学科試験選抜（B日程）合格者選考について

【聖カタリナ大学短期大学部教授会議題】

令和6年10月2日 第7回

1. 2025（令和7）年度総合型選抜（Ⅰ期）合格者選考について

令和6年11月7日 第8回

1. 学年歴について
2. 学科長選挙管理委員会委員の選出について

令和6年11月19日 第9回

1. 2025（令和7）年度指定校推薦選抜（前期）合格者選考について
2. 2025（令和7）年度専願推薦選抜合格者選考について

令和6年12月4日 第10回

1. 学長賞表彰者について
2. 聖カタリナ大学短期大学部学則の一部改正について

令和7年1月8日 第11回

令和7年2月5日 第12回

1. 2025（令和7）年度一般選抜（A日程）合格者選考について
2. 2025（令和7）年度共通テスト利用選抜（前期）合格者選考について
3. 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学の広報に関する規程の一部改正について

令和7年2月21日 第13回

令和7年3月5日 第14回

1. 卒業の認定について
2. 復学について
3. 大学の学部名称変更及び新学科設置に伴う各種規程の改正について

令和7年3月11日 第15回

1. 2025（令和7）年度リカレント訓練生合格者選考について

令和7年3月13日 第16回

1. 2025（令和7）年度一般選抜（C日程）合格者選考について

◆◆ 学校法人聖カタリナ学園令和6年度決算概要 ◆◆

■ 1. 資金収支決算

資金収支決算は、資金収入が42億25百万円（予算比△18百万円）、資金支出が43億80百万円（予算比△32百万円）となりました。結果、収支差額△1億55百万円に前年度繰越支払資金20億24百万円を加算し、翌年度繰越支払資金は18億70百万円となりました。

■資金収支計算書：当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度の支払資金（現金&いつでも引き出すことのできる預貯金）の収入及び支出の順を表します。

（注）表中数字の単位は、「百万円」です。
百万円未満は四捨五入して記載しています。

科 目	予 算 (a)	決 算 (b)	差 異 (b)-(a)
前年度繰越支払資金	2,024	2,024	—
当年度			
資金収入	4,243	4,225	△18
資金支出	4,412	4,380	△32
収 支 差 額	△169	△155	14
翌年度繰越支払資金	1,856	1,870	14

■ 2. 事業活動収支決算

事業活動収支決算は、事業活動収入が42億68百万円（予算比+67百万円）、事業活動支出が44億89百万円（予算比+5百万円）となり、基本金組入前当年度収支差額は△2億21百万円（予算比+62百万円）となりました。同差額より基本金を組み入れた結果、当年度収支差額は△4億29百万円（予算比+82百万円）となり、翌年度繰越収支差額は△70億6百万円（予算比82百万円）となりました。

■事業活動収支計算書：当該会計年度の事業活動収入（学校の負債とされない収入）及び事業活動支出（現預金の支出を伴わない減価償却額や退職給与引当金繰入額などを含む）の内容を表すとともに、基本金組入前及び基本金組入後の収支均衡状態を明らかにします。一般企業会計の「損益計算書」に当たります（右表は総括様式）。

科 目	予 算 (a)	決 算 (b)	差 異 (b)-(a)
事業活動収入計 ①	4,201	4,268	67
事業活動支出計 ②	4,484	4,489	5
基本金組入前当年度収支差額 (①-②)	△283	△221	62
基本金組入額合計	△228	△208	20
当年度収支差額	△511	△429	82
前年度繰越収支差額	△6,577	△6,577	—
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△7,088	△7,006	82

■ 3. 貸借対照表

貸借対照表は、本年度末（令和7年3月31日）において、資産の部は157億99百万円、負債の部は25億92百万円、純資産の部（正味財産）は132億6百万円（基本金202億12百万円と繰越収支差額△70億6百万円の合計額）となりました。

なお、本年度末（令和7年3月31日）における減価償却累計額は、84億12百万円となっております。

■貸借対照表：一定時点（本学は3月末現在）の資産、負債、純資産（基本金・繰越収支差額）の内容及び在り高を明示し、財産の状態を表します。

科 目	本年度末 (a)	前年度末 (b)	増 減 (a)-(b)
資産の部			
固定資産	13,676	13,873	△197
流動資産	2,123	2,248	△126
資産の部合計	15,799	16,121	△323
負債の部			
固定負債	1,909	2,034	△126
流動負債	684	660	24
負債の部合計	2,592	2,694	△102
純資産の部			
基本 金	20,212	20,004	208
繰越収支差額	△7,006	△6,577	△429
純資産の部合計	13,206	13,427	△221
負債及び純資産の部合計	15,799	16,121	△323

* 学校法人会計基準について *

学校法人は、一般事業法人と異なり、利益の稼得を目的とした組織ではありません。学生生徒や社会に対して、教育研究活動を通じた人材育成という崇高な使命を負った社会性、公共性の高い存在です。しかしながら、「経営」という視点を欠き、過大な設備投資や場当たり的な運営が続いていると、収入と支出のバランスを失い、経営基盤の不健全化を招き、場合によっては、存続すら危うくなってしまう可能性があります。こういった事態を防ぐために、経営の実態を会計面から適時、的確に把握できるよう、一定の会計処理ルールが定められています。それが、昭和46年に文部省令第18号として制定された「学校法人会計基準」です。国または地方公共団体から補助金の交付を受けている学校法人は、私立学校振興助成法第14条に基づき、「文部科学大臣の定める基準に準い、会計処理を行い、貸借対照表、収支計算書その他の財務計算に関する書類を作成しなければならない」とされています。なお、学校法人会計基準の一部を改正する省令（平成25年4月22日文科省令第15号）が平成27年4月1日に施行され、平成27年度以降の予算・決算に適用されています。*****

◆◆ 人 事 ◆◆

《令和6年10月31日付け》

【退職】
（北条キャンパス）

総務課

事務職員（非）岡 恵美

《令和7年1月27日付け》

【新規採用】

（松山市駅キャンパス）

看護学部

実習助手（非）村上 裕紀

《令和7年1月31日付け》

【退職】

（北条キャンパス）

会計課

事務職員 福住 もえ

総務課

技術職員（ぼけっと）（非）松岡 由花

《令和7年2月20日付け》

【退職】

（松山市駅キャンパス）

看護学部

実習助手（非）村上 裕紀

《令和7年3月30日付け》

【退職】

法人本部事務局

事務局員 上田 稔

《令和7年3月31日付け》

【新規採用】

法人本部事務局

相談役（非）上田 稔

【退職】

（北条キャンパス）
人間健康福祉学部

教授

山本 万喜雄
ロウ・リンダ・クリスティン

教授

秋山 昌江
関谷 由香里
恒吉 和徳
田中 顕悟
鬼頭 裕美

助教

保育学科

藤井 澄子
畔地 利枝

学長相談役兼学生部相談役

（非）大浦 慎一

就職課

主任 品部 真佑

会計課

用務員（非）白方 文造
用務員（非）西山 元則
（松山市駅キャンパス）

看護学部

助教 西本 絵美

【昇任】

法人本部事務局

事務局員（法人会計課長併 石井 亮任）

（12Pへ続く）

《令和7年4月1日付け》
【新規採用】
 (北条キャンパス)
 健康社会学部
 教授 皆川 孝昭
 学生支援課
 事務職員(養護)(非) 魚本 記代
 (松山市駅キャンパス)
 看護学部
 助教 船津 綾子
 実習助手(非) 西本 絵美
【昇任】
 (北条キャンパス)
 健康社会学部
 教授 田村 昌彦
 教授 鈴木 茂久
 准教授 黒田 卓哉

保育学科
 教授 遠藤 文子
 学生支援課
 課長補佐 山内 宏之
 教務課
 係長 渡部 美奈子
 (松山市駅キャンパス)
 看護学部
 講師 玉井 寿枝
 図書課
 課長 池本 真由美
 看護学科事務局
 主任 稲田 有伊子
 主任(養護) 荒木 美喜

【配置換え】
 総務課
 課長(就職課長併任) 新名 敏弘
 就職課
 事務職員 近藤 輝
《令和7年4月30日付け》
【退職】
 (北条キャンパス)
 会計課
 技術職員(守衛)(非) 上甲 仁
 就職課
 事務職員(非) 宮土 忍

(松山市駅キャンパス)
 看護学科事務局
 図書課
 事務職員(非) 稲葉 沙也香
《令和7年5月1日付け》
【新規採用】
 (北条キャンパス)
 会計課
 技術職員(守衛)(非) 菊澤 善尚
《令和7年5月31日付け》
【退職】
 法人本部事務局
 相談役(非) 上田 稔

◆◇ 研究室探訪 ◇◆

聖カタリナ大学

現代人間学科 助教 高藤 真作

2020年4月に聖カタリナ大学に赴任して6年目になりました。着任して以来、学科では主に国家資格である公認心理師養成の科目に携わっており、他にも福祉・医療・教育など対人支援職を目指す学生たちに心理学の授業を行っています。教員としても6年目の私にとっては学生たちと一緒に悩み、一緒に学んできた日々です。

私はそれまで臨床心理士、公認心理師として医療・教育などの現場で臨床経験を積みつつ、研究としては性的マイノリティ、特に男性同性愛者の方のアイデンティティ形成について研究してきました。近年ではパートナーシップ条例や、2023年6月に成立した「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」などで世間の関心も高まり、セクシュアリティに関する用語が世間でも広く知られるようになってきています。少しずつ世間の価値観も変わってきてはいますが、セクシュアリティに関する誤解や偏見がなくなったわけではありません。そんな社会の中で当事者の人たちが“どのように自分自身のセクシュアリティを肯定的に受けとめ生きてきたのか”を読み解くことで、当事者の悩みに寄り添う一助になればと研究してきました。

私自身、若い頃に思い悩むことがあったことで心理学に関心を持ちましたが、心理学では人の気持ちを理解し、寄り添うための様々な知識・技術を学ぶ

ことができます。私のゼミでは学生たちに発達や臨床に関する様々なテーマを自分自身で選んでもらっていますが、私と同じように性的マイノリティに関するテーマや、他にも様々な問題意識を持ったテーマを選んでくれています。多様なあり方を尊重し合う多様性の時代において、様々な問題に関心を持って取り組んでくれる学生がいることを嬉しく思っています。もちろん自分とは異なる属性、悩みを持つ人々に対して、時には全てを理解することや共感することが難しいこともあります。しかし、自分自身とは異なる属性、悩みを持つ人を理解しよう、共存しようとする姿勢が重要であり、多様性なのではないかと私自身は考えています。学生にとって様々な人が共存する社会で起きる様々な課題とその解決を考えるひとつのきっかけになっているのではないかと思います。

今年度からは現代人間学科が始動し、より幅広い学問分野を自由に学ぶことのできるカリキュラムとなりました。学生たちには現代の社会の問題を多角的な視点から物事を捉えるための幅広い専門的な知識・技術と、その知識・技術を活用するための想像力・柔軟性を身に着けてほしいと願っています。今後も学生たちと共に悩み、学んでいながら、私自身も一緒に成長していきたいと思っています。

聖カタリナ大学・短期大学部学報
 〒799-2496 愛媛県松山市北条660番地
 TEL 089-993-0702(代)
<https://www.catherine.ac.jp>
 編集・発行
 広報委員会
kouhou@catherine.ac.jp